

各位

南庄内在宅医療を考える会

世話人：石橋 学、三原一郎、土田兼史、中村秀幸
佐久間正幸、真島英太、中目哲平

令和5年度第1回 「南庄内在宅医療を考える会」のご案内

今回は「**当地区の在宅医療の現在と未来**」をテーマに企画しました。

Covid-19 感染症の影響もあり、当会の活動も長く「休眠状態」が続いておりました。この間、当地区の在宅医療の状況もかなり様変わりしてきているようです。

Covid-19 に対する国の取り扱い方針も変わり、ようやく本格的な再開が可能となったことを受け、標記のテーマで在宅医療にかかわる医師が忌憚のない意見と情報交換を交わす場を設けたいと思います。特に「在宅看取り相互支援システム」については運用開始から3年経過し、運用状況を見てもそう多くは無く、運用するうえでの様々な課題もあると思われ、また、新規開業された先生方もおられることからこの話題を議論の中心に添えたいと考えています。

急なご案内となりますが、ぜひ多くの方々にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

日 時：令和5年6月7日（水）19時から20時半

場 所：鶴岡地区医師会館 講堂

内 容：上記

対 象：医師

申 込 み：別添の申込用紙にて5月30日（火）までお申し込みください。

※在宅看取り相互支援システムとは※

医師が、学会・出張・旅行などで不在時でも安心できる仕組みを構築することにより、医師の在宅医療に対する不安感や負担感を軽減するための仕組みのひとつです。

対象は「死亡が予測される在宅患者」です。

事務局

地域医療連携室ほたる

TEL：29-3021 FAX：29-3022

メール：hotaru@tsuruoka-med.jp

※切:5月30日(火)厳守

地域医療連携室 ほたる 行き

(メール:hotaru@tsuruoka-med.jp FAX:29-3022)

6/7開催 R5年度第1回 南庄内在宅医療を考える会参加申込書

医師氏名_____

医師氏名_____